（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　アネラ近鉄八尾

公表日 2026年6月1日

利用児童数 34　　回収数 24

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	6	0	4	もう少しスペースが広い方がいい	温かいお言葉、ありがとうございます限られた施設環境の中ではありますが、活動内容に応じて机や備品の配置を工夫し、安全かつ快適に過ごせる空間づくりに努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	16	2	0	6		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思います	16	4	0	4		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	2	0	3	いつも清潔な環境だと思う	今後もお子様が安心して過ごすことができるよう、清潔で安全な環境の維持に努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	4	0	2		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	21	2	0	1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	2	0	2		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	1	1	2	話を共有し、支援をしてくれてるとおもう	今後も保護者様との情報共有を大切にし、お子様一人一人に寄り添った支援を行ってまいります。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	1	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	1	0	3		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	1	1	8		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	1	丁寧に説明をしてくださいました	わかりやすく丁寧な説明を心がけ、安心してご利用していただける事業運営に努めてまいります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1	1	2		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	3	3	13		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	3	0	0	LINEで報告されている	今後もLINEや連絡帳を活用し、お子様の様子や活動内容についてわかりやすくお伝えできるよう努めてまいりま
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	7	1	1	その都度、報告されている	今後も頬者様との情報共有を大切にし、お子様の成長や様子を適切にお伝えできるよう努めてまいります
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21	2	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	3	8	9		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	4	0	0	相談を聞いてもらい対応をしてもらっている	保護者様やお子様からの相談に丁寧に対応し、安心してご利用していただけるよう努めてまいります。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20	3	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	1	7	利用日には発信されている	SNSで活動内容や事業所の取り組みについて、わかりやすい情報発信に努めてまいります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	1	1	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されています	13	2	0	9		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	1	0	14		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	15	1	0	8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	4	いつも何かあれば連絡や説明されている	事故や体調変化等があった場合には、迅速かつ丁寧な説明を心がけ、保護者様に安心していただけるよう努めてまいりま
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	2	安心感をもっている	温かいお言葉、ありがとうございます。安心して通所していただけるよう今後も環境づくりに努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	5	0	1	いつも子供が楽しみにしている	温かいお言葉ありがとうございます。お子様が楽しく通所できるよう、魅力のある活動や支援を提供してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	2	0	1	子供が楽しみにしている	お子様一人一人に寄り添った支援を行い、満足していただける事業所運営に努めてまいります

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　アネラ近鉄八尾

公表日　2026年　6月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	活動内容に応じてスペースを分け 安全に活動できる環境を整えている	利用人数や活動内容に応じて、より効率な空間活用を検討する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	5	1	子供の状況に応じて職員配置を調整している	職員間の連携をさらに強化し、支援の質の向上を図る。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか	6	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	わかりやすい声掛け、視覚支援などを行っている	個々の特性に応じた伝達方法の工夫を継続する。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員会議などで機会を設けている	引き続き、職員の意見を聞き、業務改善につなげていく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	1		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	1	5領域なども踏まえたプログラムを作成している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	職員で話し合ってプログラムの立案をし、 保護者にも公表している	今後も職員で話し合ってプログラムの立案を行っていく。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子供が興味のあるプログラムを職員間で話し合っている	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6	0	毎朝職員間で振り返り、気付いた点を共有している	議事録なども残す必要がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	活動内容や遊び、取り組み内容について、 子供自身が選択できる機会を設けている	子供の発達段階に応じて、より自己選択の 機会を増やしていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		会議で得た情報を職員間で共有し、支援に活かしている
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	5	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	1	送迎時や連絡帳などで詳しく様子をお伝えしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	1		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	1		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		

（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アネラ近鉄八尾			
○保護者評価実施期間	2026年　3月　1日	～	2026年　3月　31日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	34	（回答者数）	23
○従業者評価実施期間	2026年　3月　1日	～	2026年　3月　31日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	13	（回答者数）	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　6月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との情報共有や連携が充実している	LINEや連絡帳を活用し、日々の様子や活動内容を丁寧に伝えている。また、相談しやすい関係づくりを心がけている。	保護者様との面談や情報共有の機会を充実させ、より連携を深めていく。
2	子供が楽しく、安心して利用できる環境を整えている	毎月活動プログラムを計画し、運動・創作・SST等の様々な活動を提供することで、子供たちが楽しみながら安心して過ごせる環境づくりをおこなっている。	子供たちの意見や興味関心を取り入れながら、より満足度の高いプログラム内容の充実を図る。
3	子供ひとりひとりに寄り添った支援を行っている	日々の様子や特性を職員間で共有し、一人一人に応じた関りを心がけている。	職員研修やケース検討を通して、より質の高い支援につなげていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出、その他必要な訓練は行っているが、保護者などへ周知徹底できていない	避難訓練を行った旨、日々の連絡帳などに記載しているが、SNSや別途保護者へ報告出来ていない。	SNSや別途LINEなどですべての保護者へ連絡し活動内容を周知する必要がある。
2	父母の会の活動の支援や、保護者会などの開催等など、保護者同士の交流の機会が設けらていない	・共働きの家庭やシングルの家庭が多く、日々忙しい保護者が多いため、交流の機会を望んでいる保護者も少ない。	保護者面談や日々の情報共有を通じて、信頼関係の構築に努めるとともに、交流機会のあり方について検討していく。
3	事業所の取り組みや自己評価表の周知が十分でない。	情報発信の機会が少なく、保護者への周知が十分に行えていなかった。	SNS等を活用した情報発信を開始しており、今後は自己評価結果や事業所の取り組みについても継続的な周知を行う。